

▶ 1部復帰に歓喜と涙



グレコ60kg 桑山 84kg 石井
3位
フリー74kg 松雪



◀ 右から石井 桑山、松雪



◀ 粘り強く攻める石井(準決勝)

女子 1部復帰 リーグ戦全勝の勢い保つ

関東大学バドミントン春季リーグ戦 1部2部入れ替え戦 5月8日、千葉商科大学 最大6点差をひっくり返し、その勢いでゲームを連取。1部復帰を決めた。

シングルスで重山智佳(文3・聖ウルスラ学院英智高)、石原優美(文4・日本橋女学館高)がともに辛勝し、復帰に王手をかけた3試合目。2部最優秀選手賞の加藤智香(人間科学3・埼玉栄)から逆襲が始まる。(飯塚恒成・文3 写真も)

優勝争い脱落

東都大学野球春季リーグ戦

第5週を終え、専大は4勝5敗・勝ち点1で4位。優勝争いからは脱落したが、落ち込んでいる暇はない。「秋へ向けてリスタートです」と齋藤正直監督が語る通り、すでに前を向いている。

◇第3週・日大戦(4月20日)



初戦は池間誉人(商1・糸満高)の3安打を含む10安打6得点と打線が爆発。投げては先発・高橋礼(商3・専大松戸)

左投手(國學大第1戦) 撮影・富樫

レフトスタンドへ本塁打を放つ(國學大第1戦) 撮影・富樫

高橋礼(商3)が6回1/3を1失点で抑える好投。6-1で快勝した。第2戦は負けはしたものの、森山恵(商4・星稜高)が推定飛距離135.5m、圧巻の特大本塁打を放ち、「打の専大」を印象付けた。第3戦は六回裏に代打・平湯蒼藍(経済



▲ 下田のドリブル突破(早大戦) 撮影・安藤

飯田は突破力が魅力の右サイドバック。3年次からレギュラーとしてチームを支えてきた。「幼い頃からの夢だったプロサッカー選手になることができ、そして清水エスパルスの一員になれたことを大変うれしく思います。自分に関わってきた全ての方々に感謝の気持ちでいっぱい」と感謝の言葉を述べ、「自分の特徴である前への推進力や突破力を生かして得点に絡んでいきたい。常に自分を磨いて成長し、サポーターの皆さんに勝利を届けられるように頑張ります」と意気込みを語った。

試合は厳しい展開となった。第1、第2セットを落としたが、そこから巻き返す。第3セットを11-7でのにすると、3セットを連取し逆転に成功。第6セットは落としたが、第7セットを11

専大は初戦で慶應大に敗れると、残りの2試合でも勝ち星を挙げられず、全15チーム中12位。高橋裕一監督は、「1年

12位に終わる

関東大学アイスホッケー選手権Aグループトーナメント 4月9日、29日、西東京市・ダイドードリンコアイスアリーナ

▽関東学生選手権(5月8日) 平野青地(文2・東福岡高) 11位

▽平野、原三四朗(経営2・福岡大附大濠高)、了戒一彰(商2・東福岡高)の3人が全日本学生選手権(7月3日、日本武道館)の出場権を獲得

▽ソフトテニス部

▽関東学生春季リーグ戦(2部) 5月7、8日

4勝1敗 2位

▽テニス部

▽関東学生トーナメント大会(4月16日、5月8日) 【男子ダブルス】 黒川享(商2・柳川高)・奈良部(商1・秀明八千代高) 組 11位

▽女子シングルス 清水千夏(人間科学4・幕張総合高) 11位

滑川高)、フリースタイル74kg級で松雪泰成(商1・星城高)がそれぞれ3位となった。

昨年準優勝の桑山は準々決勝から登場。第1ピリオドでフォール勝ちして危なげなく勝ち進む。準決勝では、これまで苦い思いを何度もしてきた北岡佑介(日体大)に敗れ、「もっとレベルアップしないといけない」と悔しさをにじませた。

石井は準決勝までの3試合を全てフォール勝ちで突破。準決勝では先制したものの逆転され、3月23、24日、横浜文化体育館

第6節(5月7、8日)を終え、専大は2勝1分3敗の勝ち点7で8位。リーグは勝ち点11で4校がトップに並ぶ混戦模様で、ここからの巻き返しの期待だ。

第6節ではここまで最少失点で2位につけていた早大に2-0で完勝した。この日は前線からの

取ることができ、自信と「手応えをつかんだ」と手応えをつかんだ。(谷田祐樹・法2 写真も)

DF飯田、J2清水加入が内定

DF飯田貴敬(法4・野洲高)の来季からのJ2清水エスパルスの加入が内定した。

自由参加選手で出場した三部航平(商1・青森山田高)が男子シングルスでベスト8入りした。予選リーグを難なく突破した三部は、決勝トーナメントの1回戦もストレート勝ち。2回戦の相手は昨年のユニバーシアード競技大会で日本勢初の金メダルを獲得した森蘭政(明大)。三部と森蘭は全日本選手権男子ダブルスでペアを組み2014、15年と連覇。手の内を知り尽くした相手だ。

同大会には、田添健汰(商3・希望が丘高)も出場。男子アンダー21の準々決勝では三部を破り、ベスト4入りした。(木村健人・商3)

監督交代

渡辺卓史氏(平9経営) 剣道部

梅山義隆氏(平10経営) ゴルフ部

羽川豊氏(昭55商) 日本拳法部

小野寺勝洋氏(平11商) バドミントン部

【女子】

高橋秀一氏(昭46経済)

次生が気持ちの入ったプレーをしてくれたことが収穫。最後まであきらめずにプレーする姿を見ることができた」と話し、「選手の体力強化を課題に挙げた。(飛田翼・文2)